

# 都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクトについて

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（東京2020組織委員会）は、2017年4月より、東京2020大会で使用するメダルについて、使用済み小型家電リサイクル由来の金属から製作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を実施しています。



※メダルは東京2020組織委員会が制作します。

## ■ オリンピック史上初の試みです。

国民が参画し、メダル製作を目的に小型家電等の回収を行い、集まったものから抽出された金属でメダルの製作を行うプロジェクトは、オリンピック・パラリンピック史上、東京2020大会が初めてとなります。

## ■ 使用済み小型家電のリサイクルを通じて、東京2020大会に参画できるプログラムです。

ご家庭で不要になった携帯電話・パソコン・デジカメ等、小型家電リサイクル法の全品目が対象です。国民は、使用済み小型家電を、メダルプロジェクト用の回収方法へ排出することで、東京2020大会に参画できる国民参画形式のプロジェクトです。回収・処理等については、小型家電リサイクル法のスキームを通じて実施します。

## ■ 都市鉱山リサイクルをレガシーとして「持続可能な社会」の実現を目指しています。

日本に眠る都市鉱山（使用済製品等に含まれる有用資源等）の埋蔵量は、世界の天然鉱山を凌ぐ量があるといわれています。この取り組みを通じ、「資源の有効活用をより重視する持続可能な社会の実現」を目指しています。

## メダルのために、アクションしよう

使用済みの小型家電を集めるために、大きく5つの回収方法が選べます。ここでは、それぞれの回収方法の特徴を紹介します。回収方法は自治体ごとに異なるので、まずは、みなさんが住んでいる地域でどのような回収が行われているか、ここから確認してみてください。

<http://www.toshi-kouzan.jp/authority/index.html>

### ① ボックス回収

回収ボックスを公共施設や商業施設などに設置し、ボックスに直接投入した物を定期的に回収します。自治体または認定事業者が、公共施設や商業施設など、全国約7,000カ所にボックスを設置。携帯電話やデジカメなど、主に小さなサイズの小型家電が対象です。



### ③ 認定事業者による直接回収

宅配便回収や家電量販店の購入商品配送時の回収、認定事業者の事業所や工場などの拠点での回収などがあります。自宅での引き渡しが可能になることや買い替え時の排出ニーズを的確に捉えて回収しています。



CHECK

メダル専用の回収は、このマークが目印です

メダル製作へのご協力は、「みんなのメダルプロジェクト」のマークがある回収をご利用ください。



### ② 拠点回収

自治体が指定するステーション（ごみ回収場所）やクリーンセンターなどで、定期的に行っている資源回収と合わせて、「小型家電」という区分を設けて回収する方法です。28品目ほとんどの小型家電が対象のケースが多いです。



### ④ イベント回収



自治体などが主催する各種イベント会場にボックスを設置し、イベント開催の期間に限定してボックス回収を行う方法です。

### ⑤ ピックアップ回収



各自治体で排出された粗大ごみや不燃ごみから、使用済小型家電をリサイクルセンターなどでピックアップする方法です。